

山梨県における森林環境譲与税の使途について（令和7年度実績）

1. 山梨県森林環境譲与税基金歳入額

森林環境譲与税	67,917 千円
運用利子	64 千円

2. 森林環境譲与税活用事業の内訳

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実 績		
		(A) + (B)	(A) 森林環境譲与税（千円）	(B) うち他の財源（千円）		研修・講習、求人イベント等		その他
						回数（回）	参加者数（人）	
事業支援システムの構築	スマート林業推進事業	11, 294	2, 914	8, 380	森林クラウドシステムの運用・保守を行う。	1	77	立木本数や地形情報等のデジタル森林情報の整備を実施。森林クラウドシステムに木材需給情報共有機能を追加
普及啓発の支援	森林環境教育推進事業費	4, 196	3, 196	1, 000	①森林環境教育と木育の取り組みを推進するため、県内各地で木育キャラバンを開催 ②教育、商工、森林関係団体で構成する「やまなし森林環境教育・木育推進協議会」の事務局を運営	8	589	木育キャラバンを県内2箇所（富士吉田市、笛吹市）で計8日間開催し、延べ589名が参加した。
木材利用の推進	やまなしの木マーケット開拓事業費	1, 074	1, 074	0	東京圏における県産材の需要拡大を推進するため、試作品の開発やPR活動経費等に対し助成			県内事業者3者が山梨県産材を利用した試作品の開発を行った。また、県内事業者10者がWOODコレクション（モクコレ）に参加し、山梨県産材のPRを行った。
木材利用の推進	県産材利用促進事業費	2, 144	2, 144	0	建築物等における県産材の利用促進を図るため、県民を対象とした現場見学会の開催等を実施			県産材使用住宅の現場見学会を2回家載し、計8組が参加した。木造建築普及啓発冊子及び普及啓発物品を製作、そして木造建築設計講習会を2回開催し、63名の技術者が参加した。
人材育成・担い手対策支援	森林の担い手づくり強化対策事業費	2, 868	2, 113	755	①新規林業就業者確保のため、本県林業の魅力を発信する取り組みを実施 ②新規林業就業者の確保・定着のため、技術指導や現場の安全管理等を行う者を育成 ③林業就業者の所得向上のため、林業経営体の事業規模拡大や生産性向上に向けた取り組みを実施	4	70	
人材育成・担い手対策支援	森林学科運営費	56, 453	45, 733	10, 720	専門学校山梨県立農林大学校森林学科において、林業の成長産業化を支える高度な知識と技術を備えた人材の育成を行う。			1年生7名、2年生9名に対して教育活動を行った。
		78, 030	57, 175	20, 855				